

上島町消防だより

～幼年消防クラブ結団式～

5月中旬に上島町各地区の保育所で、幼年消防クラブ結団式が行われました。はじめに、消防長、消防団長、各地区消防団方面隊長のあいさつがあり、続いて消防職員が、火遊びの危険性について話をし、園児達は真剣な表情で話を聞いていました。

その後、幼年消防クラブ結団の記念として記念品を贈呈し、記念撮影を行いました。最後に救急車及び消防ポンプ車の見学をし、式は終了しました。



5月11日 生名保育所



5月12日 弓削保育所



5月13日 魚島保育所



5月14日 岩城保育所

『ぼくたち、わたしたちは、火遊びはしません!!』

平成22年出動件数

年別	摘要	火	災	救 急
平成22年(4月)		0		32
平成21年(4月)		0		41
昨年比		±0		-9
22年累計		1		138

平成22年4月30日現在

火災・救急・救助は119番

※携帯電話からでもつながりますが、発信場所によっては他の消防本部につながる場合もあります。

上島町消防本部
77-4118(代)

危険物安全週間

『危険物 事故は瞬間 無事故は習慣』

6月6日(日)～6月12日(土)までの1週間は危険物安全週間となっています。

危険物安全週間とは？

石油やガソリンなどをはじめとする危険物は、ガソリンスタンドなどにおいて幅広く使用されるとともに皆さんの生活に深く浸透し、その取扱いによる安全の重要性は日々増大しています。

そのため、ガソリンスタンドなどでの危険物の取扱いの安全性の確立や皆さんの危険物に対する意識を高めることを目的とし、作られたのが危険物安全週間です。

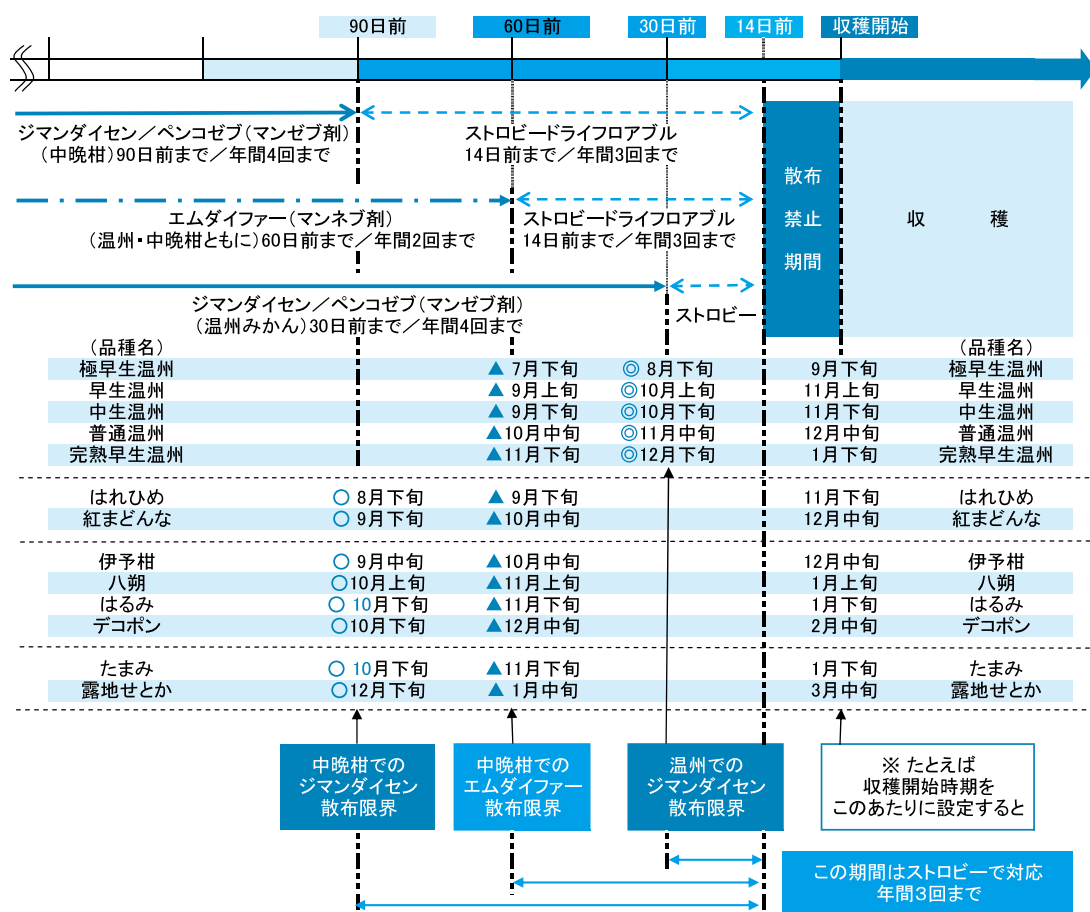
危険物は取扱いによっては、大災害になる可能性がある危険なものです。危険物の取扱いには十分注意するようにしましょう。

しまなみ農業だより ジマンダイセン類 の利用方法

6月に入るとそろそろ梅雨対策を始めなければなりません。かんきつ類では黒点病防除のシーズンとなります。平成20年11月号で、防除薬剤としてよく使われるジマンダイセン類の登録内容と使い方について概説しましたが、マンゼブ剤／マンネブ剤により使用対象に温州みかん／中晩柑の違い、また収穫前90日／60日／30日の制限があり混乱します。

最近では農業の適正使用について消費者側も関心が高く、決まりは遵守しなければいけません。今月は紙面の都合で前回載せることのできなかった、品種ごとの使用スケジュールについて解説します。

かんきつ黒点病防除薬としてのジマンダイセン類の収穫直前における主要品種別散布可能期間一覧



※注意！ 図中の散布可能期間はあくまで一例です。

自園の収穫開始日(予定)から30～90日遡ること各園の散布可能時期を算出してください。

特に注意していただきたいのはジマンダイセン類の中晩柑対象・収穫90日前制限です。最近では収穫期の早い中晩柑類が多く、はれひめ、紅まどんな、レモンは特に要注意です。またエムダイファーは温州みかん・中晩柑の違いは無く収穫60日前の制限ですが、温州みかんではジマンダイセンよりも早く制限が来ます。品種ごとに防除スケジュールや使用薬剤を変えられるほど多く栽培している場合は良いのですが、上島地区では品種が多いわりに反別が少なく、1回でほとんどの防除を済ませられる方多いので、これらの品種、薬剤の使用については充分注意し、よく計画して行ってください。

その他の注意点
 収穫前90日の制限は農薬類の使用上最も長い部類のもので、同様に90日制限の薬剤には殺虫剤のスプラサイドがあり、この剤の使用も充分注意する必要があります。特にレモンは、場合によっては他のかんきつ類に先んじて収穫が始まることがあり、こうしたスケジュールの場合には初夏の時点で防除スケジュールを組み立てておく必要があります。